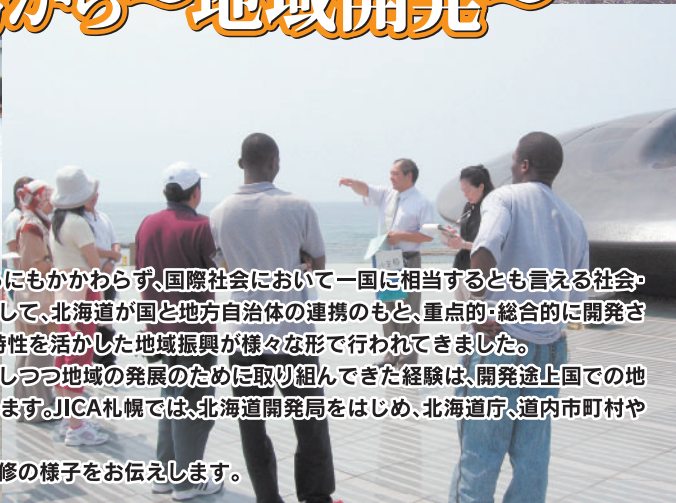
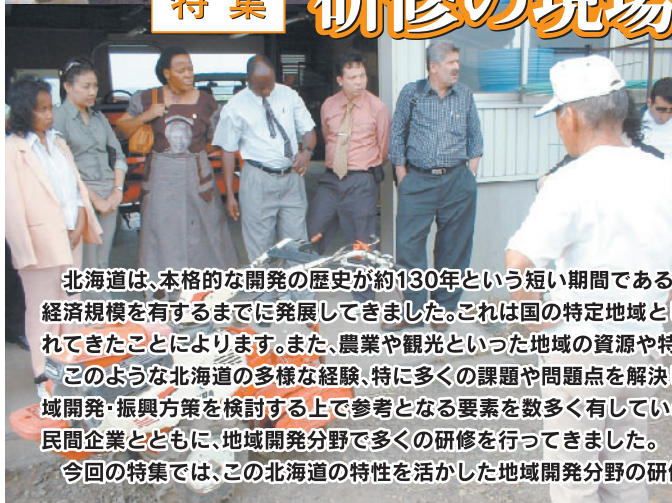




## 特集 研修の現場から～地域開発～



北海道は、本格的な開発の歴史が約130年という短い期間であるにもかかわらず、国際社会において一国に相当するとも言える社会・経済規模を有するまでに発展してきました。これは国の特定地域として、北海道が国と地方自治体の連携のもと、重点的・総合的に開発されてきたことによります。また、農業や観光といった地域の資源や特性を活かした地域振興が様々な形で行われてきました。

このような北海道の多様な経験、特に多くの課題や問題点を解決しつつ地域の発展のために取り組んできた経験は、開発途上国での地域開発・振興策を検討する上で参考となる要素を数多く有しています。JICA札幌では、北海道開発局をはじめ、北海道庁、道内市町村や民間企業とともに、地域開発分野で多くの研修を行ってきました。

今回の特集では、この北海道の特性を活かした地域開発分野の研修の様子をお伝えします。

## 北海道の総合的な開発の経験を開発途上国に～北海道開発局の研修コース～

国土交通省北海道開発局は、平成4年度以来、北海道の開拓・開発の歴史を活かした地域開発行政に関する研修を通じて、延べ628名の研修員を受入れてきました\*。

北海道では明治期の開拓使設置や戦後の北海道総合開発体制の確立など、時代の節目で一元的な開発体制のもと、道路・河川・農業・空港・港湾等のインフラ基盤整備を軸とした総合的な開発が進められてきました。こうした総合開発の計画・管理の経験・ノウハウを中心として、社会基盤の整備、農業振興、産業振興、まちづくり、環境保全等の地域開発に関する様々な分野にわたる総合的な研修コースが行われてきました。

6月から7月にかけて「中国西部地区行政実務者研修」を担当していただいた、同局開発計画課国際室調査専門官飯田さんによると、研修員の北海道に対する関心の高さや知識の深さに驚くとともに、研修における討議を通じて、中国の内陸部が抱える課題等が理解でき、非常に興味深かったとのこと。

\*世界中の開発途上国の方々を対象とした研修を1992年から実施いただくとともに、南アフリカ共和国、ペルー、チリ、インドネシア、中国等、特定の国々を対象とした研修や中央アジアやインドシナといった特定の地域を対象とした研修を実施していただきました。



昭和電工(株)を視察する中国からの研修員



地域開発に関する講義を受ける中央アジアからの研修員

### 北海道開発のセールスポイント(「地域開発分野研修コース見直し検討会報告書」より)

- 北海道開発の過程は世界的にみても約130年の短期間のうちに成果をあげた地域開発の貴重な成功例である。
- 北海道の開発は明治期の開拓使設置から国が主導的な役割を担い一貫した総合的かつ一元的な地域開発方式のもと進められてきた。
- 資源・エネルギーの供給源としての役割、食料供給基地としての役割等、時代背景に応じて北海道開発の位置づけが明確になされてきた。
- 「北海道」という都道府県単位の一つであること、独立した一つの島であることなどから、域内と域外の関係・比較や地域経済構造をはじめとして地域の特性が分かりやすい。
- 第一次、第二次、第三次産業と幅広く産業活動が営まれており、特に農業、林業、水産業と第一次産業の裾野が広い。特に農業については水田、畑作、酪農、畜産のあらゆる形態が営まれている。
- 各市町村が地域資源を活かした個性ある地域づくりに取り組むとともに、高次機能が集積した道央圏都市部と過疎に悩む農山漁村地域が共存するなど、地域開発の諸課題を解決していく上で幅広い地域リソースが存在する。